



水

6

膜分離排水処理システム

調理や洗濯など日常生活に伴って排出される生活排水は有機物質や窒素・リンを含み、河川や湖沼などに流れ込むと富栄養化の原因となります。富栄養化になると植物プランクトンが異常繁殖して赤潮やアオコが発生し、さらには魚類・藻類などの死につながります。

環境庁長官賞を受賞したクボタの膜分離排水処理システムは、集合住宅や集落などの排水を液中膜でろ過することにより、BODなどの有機汚濁物質の分解だけでなく、窒素やリンも極めて高いレベルで除去します。処理水質のレベルが極めて高く、中水や散水用水として再利用が可能です。加えて、コンパクト設計でメンテナンスも容易なことから、身近な水環境を守るシステムとして注目を集めています。

ダイオキシン類分解装置

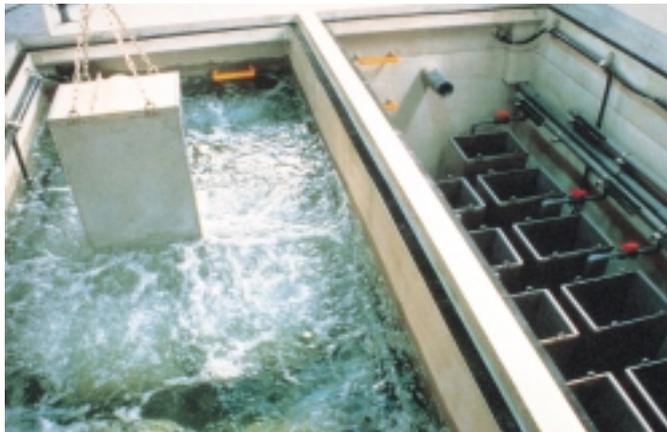
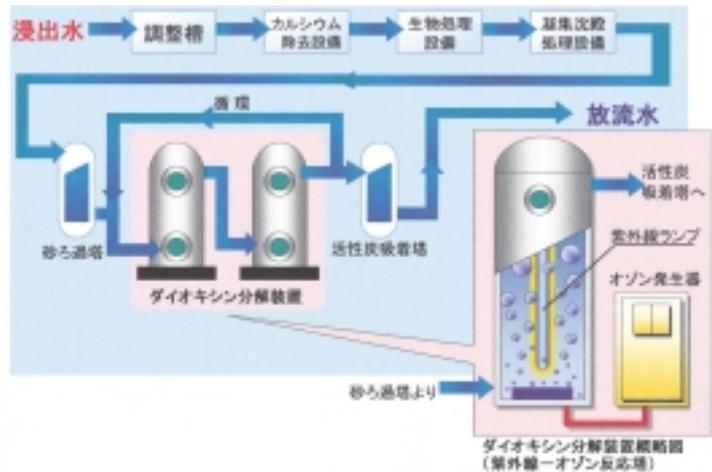
ダイオキシンによる環境汚染問題は急速に社会問題化しつつあります。

クボタはオゾンと紫外線を併用することで、水中のダイオキシン類を定量下限レベルまで分解除去することができる装置を開発しました。シンプルな構成で、ランニングコストも低いこの装置は、浸出水中のダイオキシン類の分解処理をはじめ、ダイオキシン類排出源付近の池

や湖沼・汚染土壌からの浸透水、地下水、工場廃水中のダイオキシン類分解など、広範囲の水処理に使用できます。

この装置は新規性や製品の優秀性が認められ、「1998年日経優秀製品・サービス賞 日経産業新聞優秀賞」、「日本産業機械工業会 第25回優秀環境装置会長賞」を受賞しています。

ダイオキシン分解装置の適用例



膜分離排水処理システム



ダイオキシン分解装置